SONY

4-264-473-**01**(2)

ステレオ イヤーレシーバー

MDR-XB21EX

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

禁止

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

⚠警告

禁止

交通安全のために

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、イヤーレシーバーは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

⚠注意

禁止

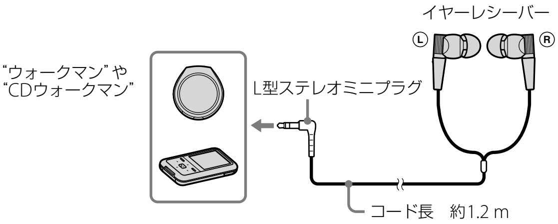
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- このイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。
- このイヤーレシーバーは、密閉度を高めていますので、強く押された場合、鼓膜などを痛める危険があります。他の人と強く接触したり、ボールなどが飛んでくるような場所では使用しないでください。また、イヤーレシーバーを耳に押しつけると、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。
- イヤーレシーバーが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- イヤーピースはしっかり取り付けてください。イヤーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。

主な特長

- ダイレクトバイブストラクチャー採用によりドライバーユニットから鼓膜までの気密を高めることにより漏洩を極限まで減らし、重低音域のグルーヴ感を、あますことなく再現
- 直径9 mmのドライバーユニットの小ささを保ちつつ、アングルド･イヤピース構造により、快適で安定性の高い装着性を実現
- ハイブリッドイヤピース（4種類:SS, S, M, L）付属
- かさばらずアウトドアでの使用でも軽快なフラットコード採用
- 持ち運びに便利なキャリングポーチ付属

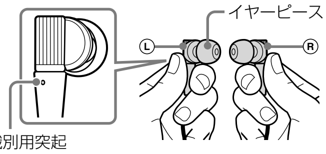
接続のしかた

ステレオミニプラグ対応の機器に接続できます。

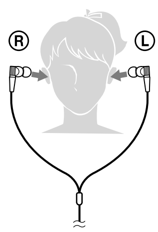


イヤーレシーバーの正しい装着方法

1 左右を確認し、図のように持つ。
Ⓛの印の方には左右識別用の突起があります。



2 図のように、本体が耳におさまるようにしっかりと装着する。
Ⓡの印のついた方を右耳に、Ⓛの印のついた方を左耳に付けてください。



3 イヤーピースが耳にきちんと装着されるように調節する。



イヤーピースの正しい装着方法

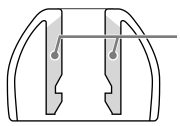
イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のイヤーピースの中から、最適なものを選んで交換してください。
イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、イヤーレシーバーにしっかり取り付けてください。

イヤーピースのサイズ(内側の色)

小さい ⟷ 大きい

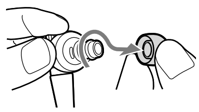
SS	S	M	L
(赤)	(橙)	(緑)	(水色)

断面図



イヤーピースをはずすときは

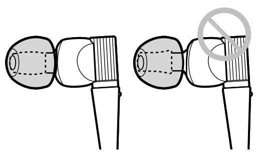
イヤーレシーバーを片手で押さえ、もう一方の手で
イヤーピースを軸ごとねじりながらはずします。



ヒント
イヤーピースが滑りやすくはずしにくいときは、
乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。

イヤーピースをつけるときは

イヤーレシーバーの突起部分が完全に隠れるまで、
イヤーピースの着色部分を押し込んでください。

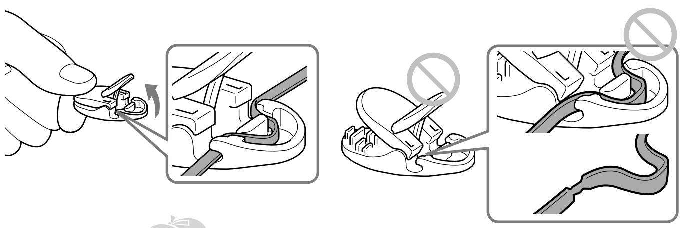


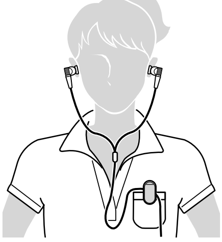
クリップの使いかた

1 クリップが開かないように持ちながらレバーを軽く上げる。

2 レバー下部のみぞにコードを入れる。

ご注意
- レバーが上がりきった状態と下がっている状態では、みぞにコードを入れることができません。
- コードを突起部に引っかけたり、みぞへ無理に押し込んだりしないでください。断線するおそれがあります。
- コードを取り付けた状態のまま、クリップの位置を変更しないでください。断線する恐れがあります。





主な仕様

形式:	密閉ダイナミック型
ドライバーユニット:	9 mm、ドーム型(CCAW採用)
最大入力:	100 mW(IEC*)
インピーダンス:	16 Ω(1 kHzにて)
音圧感度:	103 dB/mW
再生周波数帯域:	5 ～ 23,000 Hz
コード:	約1.2 m (Y型、フラット)
プラグ:	金メッキL型ステレオミニプラグ
質量:	約4 g(コード含まず)

付属品

イヤーピース(SS、S、M、L各2)
キャリングポーチ(1)
クリップ(1)
取扱説明書(1)
保証書(1)

* IEC(国際電気標準会議)規格による測定値です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

取り扱い上のご注意

- このイヤーレシーバーは、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまう恐れがあります。保管するときは変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部はていねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- イヤーピースのお手入れは、イヤーレシーバーからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤーピースは長期の使用･保存により劣化する恐れがあります。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合は、別売りのEP-EX10シリーズ(SS、S、M、Lの各サイズ)をお買い求めください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、イヤーレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは
ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
パソコンから
http://www.sony.co.jp/avp-regi/

携帯電話から
2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。
http://reg.msc.m.sony.jp/avp/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1